

通学路の安全確保に向けた臨時合同点検

本市では平成24年度より、通学路の安全を確保し、交通事故を防止するために、国・県・市の道路管理者、警察、教育委員会、学校、PTA、地域の自治会連合会、交通安全関係団体等と連携して通学路の合同点検を行っています。平成27年度は平成24～26年度に合同点検を実施していない箇所と、新たに危険箇所として各小・中学校や地域の皆様からあげられた通学路の安全点検を実施しています。

日時：平成28年1月27日（水）

合同点検 午前7:30～午前8:00

点検箇所

対策会議 午前8:10～午前9:10

《西田中学校校地周辺》 西田町鬼生田字杉内 地内

①広域農道交差点（内田杉内線 外）

②新校舎北側道路



合同点検終了後、西田中学校で対策会議を実施し、点検結果に基づきどのような対策を行うべきかについて協議しました。各関係者は協議内容を踏まえ、今後実施可能な対策を行い、児童生徒の通学路の安全確保を保っていくことが確認されました。

【点検後の対策協議会：西田中学校】

西田地区では平成30年度に5つの小学校が統合され、西田中学校西側に校舎が新設されます。今回は統合後も通学路として利用される校地北西部周辺道路の点検を行いました。

広域農道交差点付近は大型車両の通行も多く、スピードの出やすい坂道になっています。看板や電柱が死角となり、ドライバーからの見通しも良くありません。

また、交差点から学校までの道路は幅が狭く、自転車走行も含めた安全な歩行スペースの確保が必要です。

協議会では、危険箇所への安全対策のほか、地域に開かれた学校づくりに向けた校地整備についても提案をいただきました。

統合に向け子どもたちが安心して登下校できるよう、地域の皆さん、保護者の皆さんのご協力をお願いいたします。

対策案

【西田地区統合小中学校の対策案】

○広域農道交差点(写真①)における信号形式の変更(押しボタン式→定周期式)

○横断歩道の新設



○減速を促す路面標示(ドットライン等)

○側溝新設による歩道の設置(写真②)

○取り付け道路(新校舎への入り口となる道路)交差点への安全対策

○保護者の送迎、地域のイベントを考慮した駐車場の整備(歩車分離)、等



市民の皆さんで、子どもたちを交通事故から守りましょう！

